

■ロシア連邦カルーガ州知事が来県

栃木県とロシア連邦カルーガ州との交流について協議するため、6月7日（木）から9日（金）までの3日間の日程で、アルタモノフ知事をはじめとする州政府一行が来県しました。滞在中は、日露地域間知事懇談会で経済分野などの両県州の交流について意見交換を行ったほか、農業試験場や医療機器製造企業の視察、ロシア経済・投資セミナーの開催を通して、相互理解を深めました。



▲ 日露地域間知事懇談会の様子

■タイ・THAIFEX2018 に栃木県ブースを出展

5月29日（火）から6月2日（土）までの5日間、バンコク郊外のIMPACT展示会場で開催された「THAIFEX2018」に栃木県ブースを設け、インスタントラーメンや漬け物などの企業2社がタイやその周辺国から来場した食品関連バイヤーに自社の商品をPRしました。試食した反応はよく、成約が見込まれる商談もなされていました。

また、タイ県人会との交流を通じて、タイの政情や肌で感じる現地の様子を伺う貴重な機会とすることができました。



▲ 栃木県ブースの様子

■県民の日記念イベントを開催しました

6月16日（土）に「県民の日」を記念して、県庁及び県議会会議事堂などでイベントを開催しました。「東京2020オリンピック・パラリンピック機運醸成イベント」では、ウエイトリフティングの三宅宏実選手などによるトークショーや、本県で東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプを行うハンガリーの文化を紹介するイベントも行われました。



▲ 三宅 宏実選手によるトークショー

◆ 栃木県で2カ所が新たに「日本遺産」に認定！ ◆

文化庁は5月24日、本年度の「日本遺産」に13道県の13件を新たに認定し、発表しました。県内では宇都宮市の「大谷石文化」と、那須塩原、矢板、大田原、那須の4市町が共同で申請していた「那須野が原開拓」の2件が認定されました。県内の認定は足利市の足利学校を含む「近世日本の教育遺産群」（2015年度）以来で、計3件になりました。今後、日本国内外に向けて、魅力を発信していきます。



▲ 大谷石文化の構成文化財の一つである「カトリック松が峰教会」（観光交流課提供記事）